

## 令和元年度東部地区まちづくりセンター活動報告

東部地区集落支援員 手塚康博

今年1年間、集落支援員として東部地区の地域活性化やまちづくりの活動に、地域に暮らす皆さんと共に活動をさせていただきました。

令和元年度に取り組んだ主な活動についてご報告いたします。

### ◇「添川温泉ふるさと祭り」



平成元年から始まった「添川温泉ふるさと祭り」も今回で31回目となり、東部地区のお盆のお祭りといえば「添川温泉ふるさと祭り」と言われるくらい定着したイベントとなりました。

地域の住民の皆さん手作りのお祭りで、メインの盆踊りを中心に、新たなイベントや屋台・売店・ワークショップ等を開催、子供たちも含め幅広い世代の地域の方々に参加していただき、幅広い交流と賑わい創出する事ができました。

また、地域の皆様から親しまれている「ふるさと祭り」ということから、祭り終了後も今年度の反省や次年度の祭りのあり方、今後の方向性などについてしっかり協議をしながら、東部地区の活性化をめざしております。

### ◇「東部地区分館長研修会」～地域づくりの地区拠点機能充実をめざして



地域づくりの地区拠点機能の充実をめざして、まちづくりの先進地の寒河江市田代「学

びの里TASSHO」・大江町の「大江町型住宅」施設の研修を令和元年11月24～25日に東部地区分館長の研修として開催しました。

「学びの里TASSHO」は、平成26年に閉校した田代小学校校舎をリノベーション。コミュニティビジネスとして地域住民一体で献身的に取り組まれていました。

また、「大江町型住宅」は、大江町産の杉をふんだんに使用した住宅を見学し、開発に関わった設計士さんからのお話をお聞きしました。大江町型住宅は、町内の異業種12団体が協議会を設立し、町の中で地産地消を実現し、地域経済を潤す事を目指しておりました。

まちづくりについての多くのことを学ぶこと事ができた研修会でした。

#### ◇「東部地区そば研修会」



東部地区では、そばの栽培と、地元で栽培されたそばを使った蕎麦打ちが行われ、組織的な活動が近年盛んになってきております。

その様な状況を踏まえ、地区の気候風土に適合した作物「そば」を活用した、地域内連携や地域活性化、さらには新たな産業振興の一助とするため、令和2年3月1日「東部地区そば研修会」を開催致しました。

地域内のそばの関係組織団体の関係者の出席のもと、「ふるさと寒河江そば工房」相談役 松田伸一氏より「そば工房の活動と地域づくり・仲間づくり」と題し、「そば」にかかる先進事例や多様な取り組みをご講演いただきました。

そば作り・「ふるさと寒河江そば工房」組織活動を始めてから、年と共に友人が増え、人生が豊かになった。そばに出会えて良かった。との言葉が印象に残った地域活性化のための学ぶべき事の多い研修会でした。

#### ◇「第5次飯豊町総合計画 東部地区別計画策定委員会」

飯豊町の全ての計画の基本となる「飯豊町総合計画」の策定作業がスタートし、東部地区では、東部地区別計画策定委員会を組織し、20名の委員で9月から話し合いをスタート、令和2年6月の完成を目指しております。

地区から選出いただいた多様な年代から構成する15名の委員に町職員・集落支援員も加わり共同作業で計画策定を行っています。特に若い世代の意見の取り入れ、自分たちが住みたい定住したい東部地区のデザインを目指しております。